

# 第1章 整備背景と目的

## 1-1 計画策定の趣旨

近年の急速な少子高齢化や人口減少、グローバル化、情報通信技術の多様化と高度化などにより、社会環境が大きく変化しています。このような時代の潮流を踏まえて、中津川市においても人口減少社会や少子高齢化社会への対応、地域コミュニティ機能と活力の維持の対策など、持続可能なまちの発展と形成が課題となっています。

中津川市では、平成26年3月「中津川市総合計画基本構想」において、将来都市像を「かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川」として、各政策分野の目標の達成に向けた取り組みを掲げました。

これらを踏まえ、中津川市では、「中津川市子ども・子育て支援事業計画(平成27年3月策定)」、「中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年10月策定)」、「中津川市公共施設等総合管理計画(平成28年11月策定)」、「中津川市中心市街地活性化基本計画(平成30年7月策定)」、「中津川市リニアを活用したまちづくり構想(令和元年7月策定)」などを策定しました。

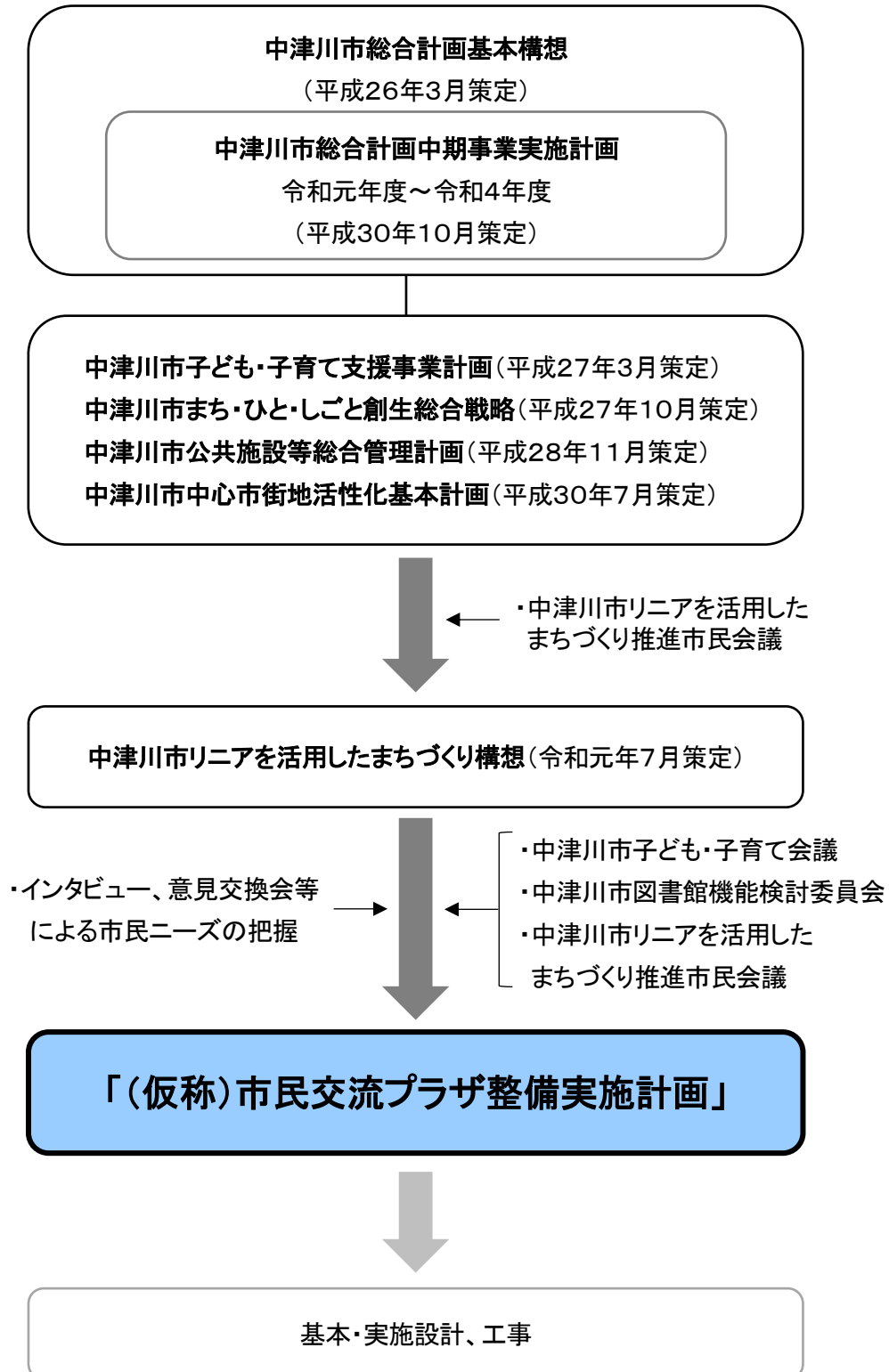
「中津川市総合計画」は現在、令和元年度から令和4年度までの中期事業実施計画期間にあり、重点施策「リニア開業に向けた基盤整備」の「中心市街地の整備」の実現のため、「中津川市中心市街地活性化基本計画」及び「中津川市リニアを活用したまちづくり構想」に基づく、中心市街地に交流や学びの拠点となる施設「(仮称)市民交流プラザ」の整備に向け、その具現化を図るため本計画を策定します。

これまでの検討状況.....

平成24年6月～	中津川市市街地活性化対策庁内検討委員会設置
平成26年5月～	中津川市市街地活性化検討会議(全10回)
平成29年6月～	中津川市中心市街地活性化基本計画策定庁内ワーキング会議(全2回)
平成29年7月～	中津川市中心市街地活性化基本計画策定市民・事業者ワーキング会議(全3回)
平成29年8月～	中津川市中心市街地活性化基本計画策定委員会(全3回)
平成30年6月	内閣府による「中津川市中心市街地活性化基本計画」認定
平成30年12月～	中津川市リニアを活用したまちづくり推進市民会議設置(全5回)
平成31年2月～	市民、団体等へのインタビュー事業(全10回)
令和元年7月	「中津川市リニアを活用したまちづくり構想」策定 拠点施設の整備:新町ビル跡地に子育て支援や市民交流、図書コーナー、観光案内などの複合施設整備
令和元年6月～	中津川市子ども・子育て会議
令和元年7月～	中津川市図書館機能検討委員会(全4回)
令和元年12月～	パブリックコメントの実施

## 1-2 計画の位置づけ

「中津川市総合計画」をはじめとする各種計画に基づき、「(仮称)市民交流プラザ」の整備事業を具現化するための整備計画を策定します。



## 1-3 各種関連計画での位置づけ

### (1) 中津川市総合計画中期事業実施計画

- ・この計画は、「中津川市総合計画」基本構想に定める将来都市像「かがやく人々 やすらげる 自然 活気あふれる 中津川」の実現に向け、令和元年度から令和4年度までの4年間に取り組む具体的な事業を掲げています。
- ・(仮称)市民交流プラザの整備については、重点施策「リニア開業に向けた基盤整備」、「若者の地元定着・移住促進の強化」の中に位置づけられています。

#### 【「中津川市総合計画中期事業実施計画」重点施策】

重点施策	事業
リニア開業に向けた基盤整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・リニア駅アクセス道路の整備</li><li>・リニア駅周辺の整備</li><li>・<b>中心市街地の整備</b> 「中心市街地に交流や学びの拠点となる施設を整備します」</li><li>・企業誘致のための事業用地の整備</li><li>・幹線道路網の整備</li></ul>
若者の地元定着・移住促進の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・若者の働く場の創出</li><li>・子育てしやすい環境の整備</li><li>・若者の住まいの確保</li><li>・当市の魅力度向上とPR</li><li>・活力あふれる地域づくり</li></ul>

## (2) 中津川市子ども・子育て支援事業計画

- ・この計画は、平成24年8月に成立した「子ども・子育て関連3法」を受けて、子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業を総合的かつ一体的に推進するために策定したものです。基本理念「安心、優しさの中で心豊かな親子を育み、かがやく未来へ進みつづける中津川」の実現に向け、子育ての様々な課題の解決に向けて、4つの基本目標と取り組む施策を掲げています。
- ・（仮称）市民交流プラザの整備については、親子の遊びの場、交流の場、子育て情報の提供と相談などを行うなど、「多様な子育て支援サービス環境の整備」を図るための関連する事業としています。

### 【「中津川市子ども・子育て支援事業計画」基本目標と施策の方向】

基本目標	施策の方向
<p style="text-align: center;"><b>家庭における子育てへの支援</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な子育て支援サービス環境の整備</li> <li>・ひとり親家庭の自立支援の推進</li> <li>・子育て家庭への経済的支援</li> <li>・母と子どもの健康の確保</li> <li>・要保護児童への支援</li> </ul>
<p style="text-align: center;">子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前教育・保育の体制確保</li> <li>・生きる力を育む園・学校教育の充実</li> <li>・幼・保・小の連携</li> <li>・配慮が必要な子どもへの支援</li> </ul>
<p style="text-align: center;">すべての子どもの育ちを支える環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域の教育力の向上</li> <li>・世代間交流を活かした教育力の向上</li> <li>・地域における子どもの居場所づくりの推進</li> <li>・安全・安心なまちづくり</li> </ul>
<p style="text-align: center;">子育てしやすい家庭や職業環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事と子育ての両立を図るための環境の整備</li> <li>・産休・育休復帰後に教育・保育を円滑に利用できる環境の整備</li> </ul>

### (3) 中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

- ・この戦略は、今後急速する人口の減少が招く様々な課題に対して、長期的視点に立って継続的な対応を国、県と一体となった取り組みにより克服するための、4つの基本目標と達成するための基本目標と具体的施策をまとめたものです。
- ・中津川市が持続していくためには、長期的な視点で、未来を担う若者の市外流出を抑制し、地元定着を図り、その若者が多くの子どもを産み育てる環境をつくることが重要としています。
- ・(仮称)市民交流プラザの整備については、「観光推進」や「出産・子育て支援」などの各施策に関連しており、総合戦略の基本目標の達成に向けて関与する事業となります。

#### 【「中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」基本目標と達成するための具体的施策】

基本目標	達成するための具体的施策
しごとをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)若者の地元定着推進</li> <li>(2)勤労者総合支援</li> <li>(3)市内企業活力向上支援</li> <li>(4)企業誘致・創業支援</li> <li>(5)地域産業(農林業)の振興</li> <li>(6)地域産品の振興</li> </ul>
なかつがわに呼び込む	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)移住定住推進</li> <li>(2)観光推進</li> <li>(3)企業誘致・創業支援【再掲】</li> </ul>
結婚・出産・子育ての希望をかなえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)結婚活動支援</li> <li>(2)若者新婚世帯生活支援</li> <li>(3)出産・子育て支援</li> <li>(4)中津川の未来を担う人材育成</li> <li>(5)高校生遠距離通学支援</li> <li>(6)ワーク・ライフ・バランスの推進</li> </ul>
地域をつくる・つなぐ、安心をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)地域情報システムの整備</li> <li>(2)地域交通網の整備</li> <li>(3)地域活動の推進</li> <li>(4)地域産業(農林業)の振興【再掲】</li> </ul>

#### (4) 中津川市公共施設等総合管理計画

- ・ この計画は、公共施設等を取り巻く環境や老朽化に伴う財政負担の増大や人口減少による利用需要の変化等の課題を踏まえ、市が所有する全ての公共施設等を対象に、総合的かつ計画的に管理するための基本的な方針をまとめたものです。
- ・ (仮称)市民交流プラザの整備については、計画に位置付けられた老朽化した施設の統合などによる公共施設等保有量の適正化及び維持管理・運営の効率化に基づき、整備を図ることとしています。

##### 【「中津川市公共施設等総合管理計画」の基本方針】

基本目標	達成するための施策
公共施設等保有量の適正化	公共建築物の統合、縮小、廃止及び民間・地域移譲を推し進め、保有量を削減します。
公共施設等の長寿命化	予防保全を行うことで、事故の発生を防ぐとともに、利用可能年数を延ばします。
維持管理・運営の効率化	公共施設等の性質に応じて様々な手法を検討し、効率的な管理を行います。

#### (5) 中津川市中心市街地活性化基本計画

- ・ この計画は、リニア中央新幹線開業を見据え、中心市街地の活性化の取り組み施策を推進するため、「人をつなぐ、地域をつなぐ、未来につなぐ中心市街地」を基本理念として、平成30年7月から令和6年3月までの期間で達成すべき目標指標を掲げ、達成のための具体的な施策をまとめたもので、国(内閣府)からの認定を受けています。
- ・ (仮称)市民交流プラザの整備については、「新町ビル跡地開発事業」として、基本方針の「潤いと生きがいを育む交流のまち」の実現のため、市民の居場所や活動の場所としての魅力の強化を達成するための主要事業に位置付けられています。

【「中津川市中心市街地活性化基本計画」基本理念、基本方針、目標指標と主な事業】

基本理念	人をつなぐ、地域をつなぐ、未来をつなぐ 中心市街地		
基本方針	魅力と活力あふれる 「商業のまち」	歴史と文化を伝える 「観光のまち」	潤いと生きがいを育む 「交流のまち」
目標	商業の活性化による 吸引力の強化	観光客を惹きつける 資源活用の強化	市民の居場所や 活動の場所としての 魅力の強化
目標指標	目標指標① 新規出店数	目標指標② 特定施設観光客入込数	目標指標③ 都市福祉施設利用者数 目標指標④ 歩行者通行量
事業	達成するための主要事業 ・空き店舗対策事業 ・トライアルショップ事業 ・六斎市事業 ・中津川まちゼミ事業 ・歴史的資産を活用した町家再生事業 など	達成するための主要事業 ・歴史的資産を活用した町家再生事業 ・間家大正の蔵活用公開事業 ・地域文化資源を活用した体験型観光推進事業 ・統一案内サイン整備事業 など	達成するための主要事業 ・ <b>新町ビル跡地開発事業</b> ・駅前広場整備事業 ・域学連携大学生・高校生が集う拠点づくり事業 など

【「中津川市中心市街地活性化基本計画」新町ビル跡地開発事業の内容】

事業名、内容及び実施時期	中心市街地活性化を実現するための位置づけ及び必要性
[事業名] <b>新町ビル跡地開発事業</b> [内容] 市民の交流によるにぎわいの創出の拠点となる複合施設の建設事業 [実施時期] 平成31年度～令和4年度	子育て支援機能や観光案内機能、市民の活動と交流を支える機能、さらに学びの拠点となる学習機能を有する複合的都市福祉施設の整備を行うことにより、日常様々な目的を持った幅広い年齢層のつながりを育み、多くの市民の快適な居場所となり、まちなかのにぎわいを創出する。 この事業により来街者とまちなか回遊人口の増加が期待でき、交流人口の増加と中心市街地の活性化に貢献する必要な事業である。

## (6) 中津川市リニアを活用したまちづくり構想

- ・この構想は、中津川市総合計画中期事業実施計画のうち、リニア中央新幹線開業を見据え、特に重点的に取り組む事業「中心市街地の活性化」、「リニア駅周辺のまちづくり」、「市域全体をつなぐ観光振興」をより具体的かつ戦略的に進めるため、市内各界各層からの意見等を聴取し、まとめたものです。
- ・(仮称)市民交流プラザの整備については、中心市街地活性化のため町並みの計画的整備を進める中で、拠点施設として位置づけられています。

### 【「中津川市リニアを活用したまちづくり構想」中心市街地の事業内容】

事業内容	施策
<p>歴史文化資源を活用したまちの中核機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地再生(リノベーションによる町並み再整備)</li> <li>・観光案内充実や特産品販売所の整備</li> <li>・中山道三宿(中津川、落合、馬籠)散策のセンター機能</li> <li>・空き店舗を活用した飲食店や宿泊施設等の再生</li> </ul>
<p>町並みの計画的整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点施設(仮称)市民交流プラザの整備</li> <li>・町家等を活用したゲストハウス、飲食店、展示スペース、統一案内サイン</li> <li>・「(仮称)まちなか美術館」の整備</li> <li>・駅前広場(観光案内所など)の整備</li> <li>・中山道散策のためのシステムづくり (石畳、茶屋、休憩所やトイレの設置、交通機能や駐車場の整備、情報発信)</li> <li>・駅前エリアの再生(飲食店街、ホテル、ビジネス)</li> </ul>



## 1-4 市民意見等の概要

(仮称)市民交流プラザの整備の検討を進めるにあたっては、市内各層や団体へのインタビューや意見交換会を計10回開催するなど、求められる機能などについて、市民意見の把握に努めてきました。

特に高校生、大学生や子育て世代など、施設の利用を高めたい年代層との意見交換を多く重ねるとともに、市内各界各層の代表の方々に構成するリニアを活用したまちづくり推進市民会議に意見を求め、いただいた意見は可能な限り反映しました。

### ■主な意見聴取先

市内商工団体、商店街役員、企業労働組合、子育て支援施設利用者、子育て支援施設関係者、ボランティア団体、高校生・大学生、市民活動団体など

### (1) 市民、団体からの主な意見について

#### ○若者世代(高校生・大学生・大学院生)

(令和元年7月～8月、全2回)

- ・飲食もでき、勉強できる場所がほしい。
- ・落ち着いて調べたり、学習ができる場所がほしい。
- ・バス待ちの間に勉強したいため、ある程度遅い時間まで開放されている場所がほしい。
- ・集中して勉強するためのスペースがほしい。
- ・Wi-Fi、フリースポットの充実。

ほか

【高校生、大学生による  
ワークショップの様子】



#### ○子育て世代

(平成31年4月～令和元年5月、全3回)

- ・子育て世代をターゲットにした施設がほしい。
- ・子どもが1日中、体を使って遊べる場所がほしい。
- ・雨の日でも屋内のボールプールやすべり台などの遊具で遊ぶことができる場所がほしい。
- ・家にいるよりも、親子で外に出ていろいろな人と関わりたい。
- ・短時間でもいいので一時預かりサービスがほしい。
- ・子育てから社会復帰のための就職情報がほしい。
- ・教育に関する情報や地域情報が手に入る仕組みがほしい。
- ・駐車場は子どもの乗り降りや荷物を運びやすくするため、広いスペースがほしい。
- ・子どもたちが伝統文化に触れられる場所がほしい。

ほか

## ○社会人

(平成31年2月～令和元年6月、全3回)

- ・中心市街地へ来てくれた市外、県外の人へ移住・定住促進の情報発信があるといい。
- ・会議室や映像作品を観られるような場を増やしてほしい。

ほか

## ○団体等

(平成31年3月～令和元年6月、全2回)

- ・調べて、勉強できる図書機能を充実してほしい。
- ・学びの拠点にしてほしい。
- ・天気に左右されず、親子で遊べる空間があるといい。
- ・市内に子どもの遊ぶ場所が少ないので、親子の居場所になるといい。
- ・外国人観光客が増えているので、外国語にも対応できる施設にほしい。
- ・子どものためを思ったら、学びの場がほしい。

ほか

## (2) 市図書館機能検討委員会からの検討内容の報告について

図書館の老朽化や手狭さといった課題の解決に向けて、図書館事業に関わる団体や地域等の代表からなる中津川市図書館機能検討委員会を令和元年7月に設置し、求められる図書館機能等について、委員に対し意見を求めました。

委員会では計4回の会議を開催し、検討した内容について、市に報告をいただきました。報告いただいた内容については可能な限り本計画に反映しました。

### 【会議の開催日程、内容】

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 第1回 令和元年7月4日(木)   | 現在の中央図書館の現状と課題について                           |
| 第2回 令和元年8月27日(火)  | 全国の先進事例、求められる図書館機能について                       |
| 第3回 令和元年9月24日(火)  | 全国の先進事例、求められる図書館機能について<br>蔵書冊数・延床面積規模の目安について |
| 第4回 令和元年10月29日(火) | 図書館機能に関する検討報告書(案)について                        |

### 【視察、意見交換会等の開催状況】

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 令和元年7月26日(金)  | 先進図書館視察(愛知県田原市図書館)   |
| 令和元年8月9日(金)   | 高校生、大学生など若者とのワークショップ |
| 令和元年9月18日(水)  | 図書館サポート団体等との意見交換     |
| 令和元年9月26日(木)  | 中央公民館友の会との意見交換       |
| 令和元年10月15日(火) | 中津川市文化協会役員との意見交換     |

### (3) 市リニアを活用したまちづくり推進市民会議での主な意見について

#### 「中津川市リニアを活用したまちづくりにかかる提言(中心市街地活性化)」抜粋

- ・機能の複合化を図ることで多様なサービスを提供し、子どもから高齢者、障がい者など多くの市民が日常的に利用できるような、にぎわい創出の核となり、交流や活動、学びの拠点施設の整備を図ること。
- ・拠点施設には、観光客などの市外からの来訪者が市内を回遊する仕組みづくりに向けて、市内各地の観光・イベント、歴史・文化などに触れることができる機能を備え、情報発信を図ること。
- ・拠点施設の整備にあたっては、老朽化し手狭となった現在の中央図書館の拡張移転を踏まえ検討するとともに、集客力と特色のある学びの拠点にふさわしい規模や図書機能についてよく検討すること。
- ・拠点施設を含め中心市街地の整備にあたっては、市民と一体となって、飲食、宿泊施設の充実など快適性や回遊性を高めるとともに、中津川らしさが感じられるまちづくりに向けて検討を進めること。

#### 【会議での主な意見】

- ・市民交流の場、域学連携で大学生が発表できるような場所を整備してほしい。
- ・会話も飲食もできる新しい形の図書館。
- ・情報館として、幅広い年代が利用する複合施設がほしい。
- ・図書館の形態が交流拠点になっている。老若男女、小さいお子さんから高齢者まで様々な年代の人が使える。そこでワークショップ、会議などいろいろなことができる。そういう拠点をイメージしている。
- ・拠点施設は、子どもたちの居場所を確保するスペース、誰でも立ち寄ることができる子育て世代にやさしい場所、子どもたちが伝統文化を体験できる施設にしてほしい。
- ・子育て支援というのも大切だが、これから増える高齢者が集う、活動できる場所の確保を望む。高齢者も何らかの役割を担うことができる場所であってほしい。
- ・駐車場を整備してほしい。

#### 【リニアを活用したまちづくり推進市民会議の様子】

#### 【会議の開催日程、内容】

- 第1回 平成30年12月27日(木)
- 第2回 平成31年1月25日(金)
- 第3回 平成31年3月26日(火)
- 第4回 令和元年5月29日(水)
- 第5回 令和元年12月23日(月)

